

校訓	真 善 美	令和8年度 学校だより	発行日	令和8年7月17日
教育目標	自ら考え、協働し、 未来を拓く生徒の育成 認め合う心、確かな学力、健やかな心身を育てる	「荒中だより」 7月 文月 第9号	発行者	伊丹市立荒牧中学校 校長 二宮 啓二

1学期終業式に際して

梅雨が明けた途端に、猛暑がやってきました。各地では、体温を超える気温が観測され、今年の夏もまた、暑い夏になることが予想されています。今日の終業式では、各学年の代表が学期を振り返り、思い出や反省を語ってくれました。それぞれの言葉から、皆さんの頑張りが伝わってきました。



この一学期、皆さんは授業や学校行事、部活動や委員会活動などを通して多くの経験を積んできました。うまくいったことも、失敗したこともあったと思います。しかし、その1つ1つが皆さんの大切な財産になったことと思います。

さて、今日は「人との関わり」について話をしたいと思います。学校には、さまざまな人がいます。同じ出来事でもとらえ方や感じ方が違い、考え方が違い、得意なことも苦手なことも一人ひとり違います。そのため、友達との行き違いや人間関係のトラブルが起こることもあります。特に一年生は、中学校に入学して新しい人間関係を築く中で、この一学期に悩んだり戸惑ったりした人もいたと思います。

しかし、人は自分と同じ考え方の人とだけ関わっていても、大きく成長することはできません。自分とは違う考え方や価値観に出会い、ときには悩みながら、相手の気持ちを考えて、自分の言動を振り返る。そうした経験の中で、人は自分自身を見つめ直していきます。大切なのは、「自分が正しい」で終わるのではなく、相手を理解しようとする中で、自分の考え方や行動の幅を少し広げることです。

学校生活の中で皆さんは、自分では普段通りに接しているつもりでも、何気なく言った言葉が相手を傷つけてしまうことがあります。反対に、自分にはない考え方から、一人では気づかなかった多くのことを学ぶこともあります。人は人との関わりによって、自分のことを知り、視野を広げていくのです。

この夏からは、部活動の地域展開も始まります。これまでとは違う仲間や指導者と出会う人もいるでしょう。ぜひ、これからの**新しい出会いにも前向きに臨んでほしい**と思います。新しい環境では、技術や結果だけでなく、挨拶や返事、相手の話をしっかり聞くことなど、当たり前のことが大切になります。そうした積み重ねが、人との信頼関係を築くことにもつながります。

明日からの夏休みは、自分で使える時間が増えます。学校には時間割がありますが、休み中にはありません。だからこそ、自分で考え、自分で時間を管理し、使うことが大切です。勉強や読書に取り組むこと、部活動や地域クラブに打ち込むこと、また、地域の活動や家の手伝いをする事。これらも皆さんの世界を広げる大切な学びです。**誰かに言われたからするのではなく、「もっと知りたい」「もっとできるようになりたい」という気持ちを持って、自分から学びに向かってほしい**と思います。3年生にとっては進路に向けた勝負の夏となります。しっかりと力を蓄えてください。



また、夏休みだからこそできる新しいことにも挑戦してください。新しい場所へ行ったり、新しい人と出会ったりする経験は、皆さんの視野を広げ、新しい発見や気づきを与えてくれるはずです。皆さんにとって、

この夏が実り多い夏になることを願っています。

最後に、一番大切なことを話します。**自分の命を大切にしてください。**熱中症や交通事故、水の事故など、夏にはさまざまな危険があります。また、悩みや不安があるときは、一人で抱え込まず、家族や先生、信頼できる大人に相談してください。

皆さんが安全で充実した夏休みを過ごし、二学期の始業式に元気な姿で集まってくれることを楽しみにしています。

学校閉庁日 8月11日(火)～15日(土)・16日(日)午前

※期間中、職員は出勤していません。部活動もありません。16日は停電となります。

※学習指導・生徒指導に関することは、伊丹市教育委員会学校教育課（780-3534）

安全や事故に関することは伊丹市教育委員会保健体育課（784-8087）まで

温かい人間関係で結ばれた学校を創ろう!!